三才雜録

六

1000
3
九号地六十六
鍼入

国立国会図書館　三才雜録 特1000-3

ガラス使用

特1000
3

帝国図書館蔵

大佛（ヲサラキ）　一條兼良ノ歌ニ

皈仏（キサラキ）やとかり仏入滅ノ月ナレハ之サラキハ新

木也舟板何ニテモ仏躰ニ作レハ新木トナル也

新（ヲサラト云也）

寛文三年四月日　光御社參シ記於海ニ漏タル

斗ヲ拔萃ス

勅使　徳大寺大納言　法皇使　小川坊城大納言

本院使　阿野大納言　新院使　持明院大納言

女院使　万里路中納言

朽木文庫
飛田文庫

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

御留守
御本丸　松平式部大輔
蓮池百人組番所
増上寺火消
浅草ハ蔵

梶井御門跡
同　新門跡
妙法院御門跡

兎　保科肥後ヶ
松平美濃守
松平周防ヶ
高力左近太夫
金森出羽守
津軽越中守

兎
紅葉山

永井右近大夫
朽木伊与ヶ
保科越前ヶ
永井日向ヶ
松平出雲ヶ
杉浦市右衛門
沼間新五郎

上野

惣火消
松平大和守　松平岩見守
小笠原信濃守　石川主殿頭

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

戸沢能登ヶ　仙石越前ヶ　浅野因幡ヶ
真田伊賀ヶ　木下兵部　相馬長門ヶ
松平伯後ヶ　土方伐中ヶ

定火消

近藤彦九郎　花房外記　堀田五郎左衛
時田権之助　安藤内蔵助　遠山半九郎
御留守中自然火事出来ニて中丸様天樹院
様御供仕ル用ニて兼ニ申付　牧太郎兵衛
堀田権右衛
倉橋内匠
三月廿六日御留ヶ中縦ル目付ニ申付　還御

以後本丸ニ帰ル
矢部伊織　稲生太郎右衛　小出甚左衛
長田十左衛　岡本孫九郎
所ニ御つ留ニ成ル　石谷伯耳右衛　可申旨ニ
仰渡ル
大手
酒井左衛　尉
松平越中守
牧野飛弾守
松平遠江守
内藤帯刀
内桜田
西丸追手
松平若狭守

外様田
和田倉
不明
日比谷
數寄屋橋
呉服橋

本多飛弾守
植村右兵衛佐
松平市正
内藤豊前守
石川若狭守
京極主膳
西郷若狭守
堀式部
織田豊前守
上野八郎左衛門
織田内記
安倍丹波守

常盤橋
神田橋
一橋
雉子橋
竹橋
清水

柳山城守
本多越中守
土方河内守
井上紙後守
堀弥太郎
本多肥後守
小堀伯中守
伊丹大隅守
内藤右近大夫
秋元但馬守
稲垣蔵人
秋元千之助

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

田安
糀町
吹上
浅草
筋違
小石川

堀肥後守
牧野新二郎
戸田伊賀守
西尾右京
土井信濃守
同周防守
菅沼八郎兵衛
近藤織部
皆川左京
松平甚九郎
本多大膳
稲垣數馬

牛込
市谷
赤坂
虎門
山下
中川内番

渡邊半三郎
服部仲
大久保數母
松平作十郎
有馬出雲守
秋田淡路守
高木重水
菅沼主水
山名主殿
久世三郎重
水野甲斐守
高木甚左衛

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

御留守中斗ハ番所

兩國橋　今村傳四郎
和泉橋　内藤三之助
新橋　仰付
水道橋

御宿割

堀三左衛門　本多山城守
千本兵左衛門　水谷伊勢守
松田善左衛門　松平米女正
齋藤頼母

松平新九郎
馬場彦九郎
仁賀保内記

折井市左衛門
嶋弥左衛門

御泊

平折　御昼休　岩付御泊　幸手御昼休
古河御泊　小山御昼休　宇都宮御泊
大沢御昼休　日光御橋
但還御之節者日光ヶ鹿沼御昼休仕
御泊ノ下ハ日ノ
二月廿六日道中御用ニ付　作付ニ付下物
金五枚時服三　高木伊勢守
荒木十左衛門
伊奈半左衛門
同半十郎
同ヒ
同ヒ羽折
時服三羽折

金弐枚　作事ニ用　木原内匠

四月十三日岩槻　御腰物真守　御泊阿部伊与ヶ献上物

黄金　代金廿五枚
越前綿　廿枚
拜領　二百把

御腰物綾小路定利　代金廿五枚
銀子　五百枚
御袷　三十

右同人家老五人　御目見ニ袷三ツ羽拜折
二ツ、弐下之

同十四日古阿御泊土井大炊頭献上

御腰物志津兼氏　代金三十五枚
黄金　廿枚
越前綿　百把

同羽領

御腰物長光　代金三十五枚
銀子　五百枚
御袷　三十

家老三人御目見拜領物同上

同十五日宇都宮　奥平美作ヶ献上物

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

御腰物左文字　代金廿枚
黄金　廿枚
越前綿　二百把

同拜領物
御腰物両佐　兼光
景改　代金廿五枚
銀子　五百枚
御袷　三十
嫡子大膳太夫献上
黄金　壹枚
羅紗　五巻
拜領　御袷二十

右家老八人御目見拜領同断
同廿一日廉沼御昼休ニ内田出羽ヶ献上
御腰物左文字　代金十枚
猩々緋　三間
金馬代
同拜領
御腰物備前助真　代金十五枚
銀子　百枚
御袷十
壬生御泊ニ三浦志摩ヶ献上

御腰物備前長光　代金八枚
綿　二百把
金馬代
同拜領物
御腰物山州國行　代金十五枚
黄金　三十枚
御袷　二十

四月十三日江城御発駕供奉
酒井雅楽頭　久世大和守
酒井河内守　稲葉丹後守
酒井日向守　土井兵庫頭
御幕長持二　御玉薬箱
右同

土屋但馬守ト
代り一人ハ跡
ゑめ袋ニ入金ハ紋
御幕中
右同

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

頭一騎　御矢筈　代セヲ御鉄炮　頭一騎　右同

五十挺　百人組頭一騎　与力十騎

五十挺　同

御鉄炮五十挺　百人組頭一騎　与力十騎

右同　同

御先弓五十張　頭一騎　与力十騎

右同引　右同引

御旗長持　御旗竿十五本　奉行一騎

右同引

御先筒三十挺　頭一騎　与力六騎

御先弓三十張　右同引

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

御使番　小姓目付

御目付　小人目付

是ハ先ハ同
有中乗廻

松平民ア少輔
枚倉筑後守
木林利下総守
三人替ル〻〻

小持筒五十挺　頭一人　虎皮小鞘
与力十キ中ヲ行　同
同引
小持弓五十張　頭一人　同
小鑓廿五本
与力歩行ニテ行

奉行一騎

御召替御馬　同御駕籠

御狩箱十　御弓立二　御鞆二

御傘　御立笠

御牀几　小姓
同月月月月

御長刀　〃徒　御腰物筒

御長刀　〃同　　御

小十人組之頭一人　〃腰物持衆　〃小道具

御徒頭一人　〃藁込之衆

小十人組　〃手筒

御徒目付　〃小人目付

小十人組　〃手筒　〃中写目付

〃徒一組　御召御馬　〃貝役　〃馬印

〃持弓五十張　頭一人　〃太鼓役
上方十キ

〃持筒同五十挺　頭一人　森川下総守
板倉松平
代〃

〃小性組頭　大森信濃守　〃小納戸

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

中奥ハ小性　ハ目付　ハ使番

ハ小性組之頭　同ハ番衆　ハ徒頭

小十人頭　ハ小人目付　土屋但馬守　家来一人

ハ中ヲ目付

ハ徒押　ハ小人　同勢　諸道具奉行

ハ中間

阿部豊後守家来五人御跡

堀田備中守御跡押

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

阿部播磨守家来百騎

安藤對馬守家来六十騎

四月廿四日江城還御の行列

御玉薬箱 荷一人 同 の矢箱頭一人

御鉄炮百人組二頭両行 の先手

の弓二頭 御旗長持 の旗竿 同

の旗持 長持 請筒 の旗奉行組

右同 右同

国立国会図書館 三才雑録 特1000-3

ガラス使用

旗奉行　使番　後目付

右同　同　同

校倉筬後ゟ　持筒一組　頭

松平民部少　森川下総守　持弓一組　頭

一人ツヽ

鑓奉行　同　召替馬　二疋

同

同御駕籠　両行　狭箱　蓑箱

弓立白　靭黒　同　玉薬箱

同　同

傘　立笠　床几

御徒 御長刀 御腰物筒
同
同 御長刀 同

御 小十人頭一人 御腰物持
御加大頭一人 御薬込

御小道具 小十人組 御手箱 御徒
同 同 御徒目付 二人

御小人目付 二人 御徒
同 同 御召御馬
同 同

小長持ニ入 同
御馬印 御太鞍 御旗長持

御持弓 頭
御持筒 頭 伏見勘七郎

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

ハ側衆　ハ小性　ハ小納戸
三人之内

中奥　ハ目付　ハ使番二人

ハ徒目付二人　ハ小性組之頭　同ハ番衆

ハ小人目付二人

寄合　御徒頭　小十人頭

ハ徒目付　ハ小人目付　久世大和守
土屋組馬や一人ツヽ

ハ徒押　同勢　ハ小人
ハ中間　諸道具奉行

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

若黨　草履取　狩笘

鑓弓鉄炮鑓引馬　以上

進上　天鵝十卷
被下　太刀折紙　妙法院御門跡
白銀千枚

進上　袷十太刀折紙　梶井御門跡
被下　白銀千枚

進上　紗綾廿卷　同新宮
太刀折紙
被下　銀二百枚綿二百把

同　香包三太刀折紙　徳大寺大納言
同　銀五百枚袷廿

右以上使雅楽頭殿を以
於　御城被下物

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

進上　砂綾三太刀折紙　小川坊城
拜領　銀三百枚袷廿
同引　阿野
同袷十
同引　持明院
同　万里小路
同引　中御門宰相
同二百枚袷斗
香包二太刀折カミ
銀百五十枚袷十

太刀折紙　川鰭中将
銀百枚袷十
同引　中園中将
同袷五
同引　竹内中務大丞
同袷四
四月廿七日就　還御為御祝儀献上物之
覚
一万石ヶ四万九千石迄一荷一種
五万石ヶ九万九千石迄一荷二種
十万石ヶ二荷三種
三十万石以上三種三荷

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

五月三日御馳走の能の白書院伶人舞楽を作付の諸代面ゝ
物頭見物
萬歳楽　定喜楽　散手
貴徳　太平楽　位臚
秘頭　還城楽　甘利
胡徳楽　安摩　祈韎鞨
打毬楽　狛竹　青摩楽
林哥　陵王　納ゝ種利
退出　長慶子
同十九日　諸大名不残の料理を下の能を

仰付
高砂　通盛　野ゝ宮　道成寺
檀風　國栖　乱
めちかこめかま　さいのめ　たかさご
ゆゝいた　くりやき　乃成ちり　風流

日本紀竟宴和謌一冊古書也
元慶六年　得大鷦鷯天皇二首
皇大后宮太夫藤原朝臣国經
気不利奈岐也度遠女玖美之須女良已曽也曽
度世阿末利玖條之良之気礼

於保散ニ岐、多賀都乃義也乃、安女毛留遠、布
可世奴古度於、多義波与呂古布、

延喜六年
得神日本盤余彦天皇
従五位下大内記兼周防権介三統宿祢理平
渡飛賀気留、阿麻能伊波布祢、多都祢○蘇阿
岐津志麻珥波、義野波志逆勢留
そのかけろあまのいそふきたつ神てそあきさ
川しなはみやたしらめせる　新古今せるをけるなり
已下略

延暦太神宮儀式帳　古書也
后宮名目抄　本朝刀剱畧記　壷井氏
官位浮説問答　同作　稲荷社記　羽倉東丸
次将装束抄　文安御即位調度図
春日社餝馬図

天野氏證文
頼朝ハ自筆ハ判ハ甲州一乱ノ砌同玉南部
建中寺和尚ニ所ケ玉ヘ処ニ手刻ハ判ニ
紛失ヤハ曰付キハ
河のそこ　あいそそりけハほこて老よそ
ありひしそそりけ十老いうそそ十

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天野周防土用丑時代同安藝八郎景光申
熱田合戦事親父七郎左衛門尉経顕屬于
當御陣駐向敵前去自正月一日到于十一日連日
致合戦堅固毎日橋爪於高矢原抽軍忠之条
今川五郎入道殿ハ見知畢其上於軍陳無
其隠者賜御證判為備後證恐々言上如件
建武三年七月日　大林寺殿直義
年月　御判

新田左馬佐殿元弘合戦所見
天野周防七郎左衛門尉経顕申子息三郎
経政関東合戦事右去元弘三五月十八日経
顕経政敵恥叅于尼瀬原則奉屬于此御
手掛破稲村冨ニ陣迫稲瀬河矢前濱鳥
居脇致合戦中此之処若黨大居左馬五郎
茂宗小河彦七安重中間孫五郎前須男
令討死畢自同廿一日廿二日迫葛西谷之合
戦致軍忠畢此ホ次第御見知之上同
時合戦之間新田矢嶋次郎上野国住人
山上七郎五郎見知ノ間就捧請文御注進
之上者為後證欲申賜御證判矣偽言上

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

如件

元弘三年十二月日　　御判

一見了

宝筐院殿義詮

去月十五日於三州竹嶋合戦被疵之由吉良左兵市満負取注申也尤以神妙弥可抽戦功状仍如件

貞治二年二月四日　　御判

上卿久我大納言　　天野左京亮殿

永徳二年七月六日　　宣旨

天野景隆

宜任下野守

蔵人所右兵衛督藤原氏房奉

上卿久我大納言

応永七年八月十日　　宣旨

修理亮藤原秀政

宜任安芸守

蔵人右兵衛佐藤原清長奉

上ミ洞院中納言

永和元年十二月十日　　宣旨

藤原景隆

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

宜任近江守
蔵人権弁藤原資道
遠江國奥山郷三分一信濃守跡地頭職奉
為料取ニ預置也早守先例可致沙汰之状
如件
正平十三年九月廿一日　左馬守
元野兵部権少輔殿　御判

遠江国九峯平山大居村地頭職事
横地左京亮長連文為去正平六年就掠給
可遵行之由度ニ虫被仰守護人今川入道心省
任旧事書之旨心省觀応三年八月十三日成安
堵之旨依沙汰付康暦二年十二月廿六日長連申
成料取ニ処永徒二年八月廿五日止料所ニ俄畢
虫然長連猶以就欲中ニ去月廿一日有其沙
汰之処於正平御下文者中成料所ニ令奉
置ニ至料取ニ股者既ニ止ニ号ニ旁取
ニ陽長連祈詔也此上ニ可ニ全領知状依仰
狀達如件
至徳二年六月廿七日　左馬佐判
元野上遠江入道殿

遠江国笠原庄内土方々山衙庄西条村内
瀬尻大嶺事為兵粮料品ニ所置也守先
例可致其沙汰状如件

応永十六年二月十八日　　湯倉攻
　　天野左京亮殿　　海兼判

天野下野守景隆ヲ遠江國濱笠名村事任
證状ニ為ル取返付シ者如元知行不可有
相違之状如件

明徳三年六月二日　　右馬佐判

雖未相渡ル共聊尓啓ル自今以後去年
相通事可ラ快ニ云ル為其旨越前殿ル仍
黄金弐枚越ル　委細使口上ナル者也

十一月十七日　　武田晴信判
天野安芸守殿
同　小巳部殿

一　遠江国犬居三ヶ郷ハ不二の有れ遣事
一　雲奈横川内郷五十貫文前ニ為ル知近
　　年氏真為領取シ条ハ新ニ恩宛ル事
一　同名七郎何様ニ忠節抽ル出仕ヲ上身血ル為扶助シ条皮父子ニ訴ヘ
　　ル一切不可許容事
一　親類同名如前ニ是又不可有相違事

一奥山兵部丞同左近ハ監元字山鯨為新
同人是又不可有お遠事
右之條〻如前〻不可有お遠者也仍如件
永禄十二年巳四月十三日　御判
天野宮内右馬尉殿

御朱印
河根郷五百貫文地為年貢中付上者無疑
於法石川伯耆守方ハ文貢ホ如氏真時可
納〻也仍如件
永禄十二巳巳年四月十三日
天野宮内右馬尉殿

一今度依令忠節出来ハ本知之事
一大居冬ヶ村并雪奈横川
都合五百貫文
右出来知行棟別ハ外為不入中なし上
永可〻の有お遠〻也仍如件
永禄十二巳巳年二月二日　御判
天野宮内右馬尉殿
同名助兵衛殿
同　刑ア左馬殿

右之外信玄勝頼義元氏真細川家今川
家ハ條家ホ之状數十通ハ今略之

京都浪客伊勢祐和傳

曽祖父　伊勢祐円

伊勢ヶ貞孝三男ニ而座ニ負孝嫡子貞
長父子ハ三好乱之節山城国長坂山ニ計
死仕ル二男備中ヶ負運ハ天正十八年小田
原ニ計死仕ル私義愛宕山長床坊住
職ニ而死在ル

祖父　大神君ニ尋ニ而召出ル

同氏下総ヶ負行嫡子ニ而　伊勢祐怡
ニ仕ル　私曽祖父養子
台徳院様ニ代江戸ニ而為召御自見ニ
仕ル又古記二冊差上ヶル
大猷院様ニ代寛永十三年ニ而召
御目見ニ仰付被ル言上仕時限ニ羽折
拝領仕ル

仰付足利軍家時代諸礼法言上

父　伊勢祐仙

又ト同ニ而目見仕ル

江北記一冊

元祖高氏
勝楽寺殿ヶ中ハ道誉ノ事也

二代
近江守秀綱

三代高詮
仙林寺殿中務少輔ト申
四代高光
能仁寺殿
五代持光
勝願寺殿
六代持清
真雲寺殿
宝性寺殿 才之養子ト云
七代勝秀中務大輔
正覚寺殿 宝性寺殿子也
八代政経大膳大夫
栖雲寺殿

九代政光
遍照寺殿 是ハ黒田ヘ養子也
十代高清
環山寺殿
首書ニ云文明ノ比持清勝秀早世シテ勝秀子ナシ弟高清ヲ養子トシテ京極ノ家ヲ継
高清若年ノ間凡黒田判官政光名代
治部太輔村宗大膳大夫政経子
加賀守高敷満願寺持光ガ
首書ニ濃州半国主斎藤持是院三位法印権大僧都妙椿明応九年十二月七日卒法名公成一超菴主

長享二年八月ニ光録中郎松尾マテ押出張ル
然共敗利ハ敗退也
按ニ光録ハ六角大膳大夫高頼
明応二年九月廿三日環山寺及ヲ持是院合力ヲ
濃州ヨリハ入国ニテ敗遂ハ李亮ル
按ニ永正十四年二月十六日中務少輔高清死
年五十八

元親記　土州雪溪寺藏此寺ハ元親ノ香花
塲也

秦氏累世

能俊　俊宗　忠俊　重氏　氏幸　満幸

兼光　重俊　重高　重家　信能　尊氏ノ
兼能　兼綱　能重　元親　文兼　元明
雄親　兼序　国親　元親

近年印板ノ土左軍記亡安作也不可信
志不ドモ記九百卷斗　尾張ノ人天野氏
信景の隨筆也近代杜撰の書よあらじ
一平岩氏ハ三州坂崎郷の人五郎右衛門某郷中
ヨ大力ヲ岩平ト称有シ〳〵平岩ト称号
セシ其子新左衛門親重家ヲ無シテ子
役五位下主計頭親吉大身ト成ト天文の

北小條家ハ平右隼人正重吉ト云勇士
なり上杉朝成を組留し者也是平日姓
ゝ平岩平石共ニ記シらいとと遺古へより
の称号の中よりへ伝る
平岩主計正ハ削親吉

平岩長之助親元
親元ハ生山州伏見奉仕駿河大納言家
御事ニ後小笠原右近ハ監へハ預ケ豊
前小倉ニテ死ス

女子二人

塚勘解由 仕増山弾正小弼
堀氏養子

堀隼人信重 仕増山兵部少

平岩七之助
三川後風土記序ニ親吉ハ親昌ノ子ト云
都て伝書のくせもて諸氏の姓名を誤る
実録なるゝ證なるゝ

一 松平親氏忠そのゝ大盤君経を書写
すして冬州所ゝのゝ社ゝに奉納ス
其奥書ハ新田左京亮親氏ト書セ

源小今規より自筆の経歴まてを世
人多くそのせしを思へル恐レ多シ
一邦古屋因幡守敦順子山三郎後九右衛
門と云母ハ織田刑部太輔女山三郎浪人の
後出雲ノ子ニ成ると云ふ女を多くしハ八幡ヨ
リ初ふきを為て千後大坂ヨリ淀後と
要名ハ何と云し
一信光君の一男親則ハ長沢松平の祖ヲ今子
益親ハ賀茂朝臣と書ス岩津村妙心寺本
尊の腹内ヨ左松平郷ハ初ハ郡名ハ称号と
一めひ[illegible]ハ姓の初ハ朝臣ヨハ何と
一北畠信雄と上野ノ信包と議して南伊勢
北伊勢の界を改んとて雲出川を中界と
定めんとせしを或老人の曰尚江南
小の界ハ古歌ヨ
凡そ池の流の志ハ
あ波と一志の堰なり
一今の勢州松坂ハ初四五百本林と云名題
古歌ヨ
いせの国よいをの森ハ郭公
名のりをしてなくなる古事
一尾州丹羽郡稲木庄大山城主歴代山
ハ中比妙法院宮の領成し永亨の末より斯波
主維して故臣領し

斯波元勲始築城云々、法名珍嶽常宝

織田遠江守廣近　同大和守敏定　久長子

同左馬丞敏信　公近仲子　後伊勢守

同伊勢守信安　敏信子

同弾正忠信定　敏定子

同与二郎信康　信定子

津田十郎左衛門信清　信康子

池田庄三郎信輝

織田源三郎勝長　信長末子

中川勘右衛門定成　信雄臣

池田勝入

加藤遠江守恭景

武田五郎三郎清利　信雄臣

土方勘兵衛雄良　同后改雄久

武蔵入道常閑　秀次父初長尾武蔵守　吉房後改三位法師

三好宰相秀俊

三輪出羽守

同五郎左衛門

石川備前守光吉

北條左市ノ大夫氏勝
松平左馬允忠頼
此二人関原後後守ニ
小笠原和泉守吉次
平岩主計頭親吉
成瀬隼人正正成
同　隼人正正虎
同　隼人正正輝

釋菜役名解

清道者　惣人數ノ一番先ニ立案内スルナリ
迎送者　迎神送神トテ神ノヲクリムカヒヲスルヒ也樂ニアハセトナヘ[illegible]ヲスル也
讀詞者　酒ヲ上ル時詞ヲヨム者
引者　祝文ヲヨム者
訊　祝文ヲヨム者
掌儀　祭儀ヲ司リスヘテ祭事ヲサシヒキスル者
讀告文者　告文ヲヨム者
開闔者　厨司ヲアケタテスル者

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

帳簾者　戸帳ハ簾ヲアケオロシスル者
傳供者　供物ヲ上ル者
司樽　酒ヲ司ル者
初献賛者　初献官ヲタスクルモノ
初献官　一番ニ酒ヲ献スル役　大学頭相勤
初献从者　初献官ニツキシタカフモノ
亜献賛者　第二番ノサンシヤク
亜献官　オ二献ノ酒ヲ上ル役　留書頭勤
亜献从者　初献ト同

終献官　オ三献ヲ上ル者
分献賛者　分献ヲタスクル者
分献顔曽思孟ノ四配ヲ酒ヲ上ルモノ
同从者　分献ニ从フ者
分奠　六从祀ヘ酒ヲ上ルモノ
執爵　分奠ノ爵ヲ持モノ
齋郎　供物ヲハコフ役

洗米　供物　菜（ナマノナヨ）　寸斗ニ切テ上　二三

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

1000
3

生肴　鯛　鶴
監肴　シホ引サケ　カラスミ
餅菓子
水菓子　枝柳　ホトウ
干菓子　品ミ　カチクリ
酒

以上

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用